

## 令和4年度新潟市健康づくり推進委員会会議概要

日時： 令和4年9月27日（火）

午後7時から8時30分

形式： Web開催（Zoom）

### 1 出席者

#### 【委員】

伊藤委員、岡田委員、川崎委員、関委員、田邊委員、椿委員、出戸委員、長谷川委員、村山委員、森田委員、吉田委員、葭原委員、和須津委員、渡邊委員

（欠席）和泉委員

#### 【庁内関係課】

スポーツ振興課、地域包括ケア推進課、保険年金課、こころの健康センター、保健所保健管理課、保健所食の安全推進課、食と花の推進課、各区健康福祉課、学校支援課

#### 【事務局】

保健衛生部長、保健衛生部医監、健康増進課長、ほか健康増進課職員

【傍聴者】 0名

### 2 議事

#### 1 委員紹介

#### 2 会長・副会長の選出

#### 3 議題

- (1) 新潟市健康づくり推進基本計画（第3次）数値目標現状報告及び基本方針別取組状況
  - 基本方針1 生活習慣病の発症予防と介護予防
  - 基本方針2 生活習慣病の早期発見・早期治療
  - 基本方針3 生活習慣病の重症化予防
  - 基本方針4 地域に密着した健康づくりの推進
- (2) 新潟市健康づくり推進基本計画（第3次）計画期間延長について
- (3) 報告
  - 自殺の統計について
- (4) その他

### 3 概要

#### <議題1 新潟市健康づくり推進基本計画(第3次)数値目標現状報告及び基本方針別取組状況>

- 基本方針1 生活習慣病の発症予防と介護予防

#### 【事務局説明】

- ・「にいがちよいしおプロジェクト」について、コロナ禍における身体活動の減少等が懸念

されたことから、令和3年度は前年度に引き続き、ちょいしおメニューの購入に合わせ、歩数やデンタルフロスの使用などの生活状況を記録し提出すると健康関連グッズが当たる「スマイルにいがたキャンペーン」を実施した。

- ・運動習慣定着の推進として、事業所単位で一定期間歩数を記録する「ウォーキングチャレンジ」を継続実施。参加事業所の増加に向け、今年度はアプリを活用したコースを新設した。
- ・高齢者の健康づくりとして、「フレイルチェック」をR2年度は北区・中央区・秋葉区3区5地域、R3年度は東区・江南区を加えた5区12地域で実施した。今年度は南区・西蒲区を加えた7区18地域で実施中。次年度は西区を加え、市内8区すべてで実施予定。

#### 【意見、感想】

- ・フレイル、低栄養を歯科の関連で見ると、在宅高齢者、特に独居高齢者は非常にリスクが高いと思われる。区役所、医療福祉大学の共同で、今後北区において独居高齢者の栄養および口腔の状態を調査する予定である。
- ・オーラルフレイル予防として実施している「お口の健康長寿健診」の令和3年度受診率が低下したのはどのような原因があるか。  
→令和3年度より76歳の他、80歳も対象として拡大し、76歳の受診率が10%以上であったことに對し、80歳の受診率が1%程度であったため、受診率が低下した。
- ・中高生は友達同士での外食が増える年代であり、ラーメン店での取り組みは有効であると考えが、若い年代に向けてどのようなPRしているのか。教育機関との連携はどうか。  
→学校での減塩についてのチラシ配布等、教育委員会と連携している。やさいdeちょいしおメニューの提供についてはラーメン店での働きかけにより、今まで関わる事ができなかった層へ啓発することができた。令和3年度は、アプリを活用し周知を図った。効果的な方法を模索しながら、少しずつ幅広く周知している。
- ・減塩ラーメンの評判はいかがなものか。  
→「思ったより味もあり美味しかった」等の評価をいただいている一方、「少し物足りなかった」という意見もあった。
- ・新規事業「歯周病リスク見える化事業」の課題に無関心層への普及啓発とあるが、どのように周知していくか。  
→「歯周病リスク見える化事業」は事業所を経由して働きかけている。
- ・職場での受動喫煙の現状値がまだ高めである。他の対策もすべてそうであるが働く世代はアプローチが難しい世代であるため、事業所とタイアップするようなものを進めていただきたい。

### ○ 基本方針2 生活習慣病の早期発見・早期治療

#### 【事務局説明】

- ・令和2年度新潟市国保特定健診受診率は、コロナ禍の影響を受け前年度より4.5ポイント減少した。コロナ禍前の水準に戻すことを目標に受診率向上に向け、未受診者に対しナッ

ジ理論に基づく受診勧奨通知やSMSによる案内等の取組を実施している。今年度は、新たに受診率の低い40代に向けて、メッセージを追加し案内通知している。

○ **基本方針3 生活習慣病の重症化予防**

【事務局説明】

- ・医療機関未治療者および糖尿病治療中断者に対し、通知による受診勧奨と保健師による保健指導を実施している。令和元年度はコロナ感染拡大により発送を先延ばしした分があり、令和2年度より通知数が少なくなっている。

○ **基本方針4 地域に密着した健康づくりの推進**

【事務局説明】

- ・従業員の健康管理を経営的な視点で健康経営に取り組む事業所を認定する「新潟市健康経営認定制度」では、令和3年度は新たに38事業所が認定された。また、優秀な事業所の表彰やセミナー開催などを継続実施し、健康経営の取り組みを支援した。

【意見、感想】

- ・栄養・食生活における取り組みはなかなか結果につながってこないと感じているが、職場単位の健康経営における取り組みに期待している。「健康経営チャレンジ支援事業」で栄養・食生活について取り組んだ事業所はどの程度あったか。具体的な取組内容は何か。  
→「健康チャレンジ支援事業」健康づくりコース39事業所のうち、19事業所。セミナーやSATを使った食事診断の体験等、食生活の振り返る機会を設けている。
- ・健康経営認定事業所において認定制度を継続しなかった事業所があるが、理由は何か。  
→未更新18、統合廃業等3であり、未更新の理由としては認定制度に応募してもメリットを感じられなかった等の意見をいただいている。

<新潟市健康づくり推進基本計画（第3次）計画期間延長について>

【事務局説明】

- ・国計画「健康日本21（第二次）」の計画期間1年延長に伴い、国計画を参考にしている本市「健康づくり推進基本計画」についても計画期間を1年延長し、令和6年度までとする。現在の計画の目標値は再設定を行わず、令和6年度まで継続する。令和5年度、市民アンケート調査にて達成状況の確認と次年度計画策定に向けた現状把握を行う。次期計画策定に向け、健康づくり推進委員会を令和5年度に2回、令和6年度に3回開催予定である。

<報告>

○ **自殺の統計について**

【事務局説明】

- ・コロナ禍において全国的に自殺者数が急増し、しばらく減少傾向だった本市も令和2年118から令和3年136と増加に転じた。自殺死亡率は令和2年に全国平均を下回ったが、令和3年は全国平均を上回り、男女ともに増加している。インターネットを活用した相談事業や自殺未遂者への支援事業等、今後も強化して実施していきたい。

#### 【意見、感想】

- ・自殺者数が増えた原因はわかっているのか。  
→自殺の原因に関する統計ははっきりした具体的なものがあるわけではなく、正確な原因は不明であるが、今回久しぶりに自殺者数が増加に転じた背景には、新型コロナウイルスによる経済的な影響や人同士のつながりが希薄になることによるサポート要因への疎外が関係していると考ええる。
- ・自殺を考えた人が相談支援でアクセスできる場所の数やそれに対応する人材はどのくらいいるのか。その数は全国的に見てどうか。支える側の人数も指標としてあると良い。  
→支える側の人数は把握が難しく、全国的にもそういった数字はないかと思う。
- ・新潟県の自殺率は全国的に見て過去20年ワースト3であり、最重要課題と考える。この会で決めるのはなかなか難しいと思うが、重点的に取り上げ、明るい新潟の未来を作っていただければありがたい。

#### <その他>

##### ○ 地域包括支援センターの新設について

###### 【事務局説明】

- ・日常生活圏域毎に地域生活支援センターを設置しており、人口の多い坂井輪・五十嵐圏域を、昨年10月坂井輪圏域と五十嵐圏域に分け、市内30か所となった。

##### ○ 市民ウォーキングチャレンジについて

###### 【事務局説明】

- ・コロナ禍における運動不足等、健康への影響が懸念される中、楽しく健康づくりに取り組んでもらえるよう、今年度アプリを使った市民向けのウォーキングイベントを初開催する。

#### 【配布資料】

次第

出席者名簿

資料1 健康づくり推進基本計画（第3次）指標一覧

資料2 基本方針別取組状況

資料3 新潟市健康づくり推進基本計画（第3次）計画期間延長について

資料4 自殺の統計について

番号なし 市民ウォーキングチャレンジ案内チラシ